

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	100	事業名	地域いきいきライフ推進事業		担当課		長寿課		
			(中事業名) 地域いきいきライフ推進事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-2-3 地域いきいきライフ推進事業		
					決算書ページ		25	～ 介護	
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進					
		施策	(2)	介護予防の推進					
	その他	開始年度	平成29年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行規則						
		関連計画							
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 10756		【アクションプラン指標】 介護予防ボランティア登録者数 【累計】 【その他の指標】		介護予防ボランティアが、地域の サロン等でプログラム内容を実践 していくことにより介護予防の意識が高まる。 (成果指標名) 介護予防ボランティアが地域の サロン等に派遣された件数		④最終成果 (大事業の将来像)	
		市民をはじめとするたくさんの 主体の意欲や能力を最大限に発 揮し、地域での健康づくり活動 や支え合い活動等が創出される よう支援します。				大 事 業 共 通		市民が、主体的に運営するサロ ン等で介護予防に関する行動が 促進される。 また、市民が住み慣れた地域で 長く自分らしく暮らしていくこ とができるようになる。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 介護予防ボランティア登録者数【累計】	人	基準値	10	目標値	20	30	40	50	60	
					目標値	60	実績	10					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景		平成29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に対して地域の実情に応じた効果的な介護予防及び日常生活支援を行うことが規定され、すべての市町村が「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始することとなった。									
		各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	プログラムをシナプソロジーからスクエアステップに変更したことにより、25人の受講があった。そのうち、10人が自分が所属するサロンや派遣で講師することができた。 令和6年度以前までは、プログラム受講者が講師をするまでは養成できなかったため、一定の成果であると考えている。 しかしながら、全ての受講者が講師として登録することはなかったため、目標値には達することはできなかった。				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		介護予防ボランティアが地域のサロン等に派遣された件数	人	年度	▶	年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R8 年度	▶	R10 年度	
							10		40		60		
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					養成された介護予防ボランティアが年1回は、地域のサロン等に派遣されることを目指す。					
	評価の理由、分析												
	介護予防ボランティア養成プログラムに参加された方の内半数以上の方が、ボランティアとして活動することができておらず、目標値を達成することができなかった。 また、自分が所属しているサロン等で実施することは積極的に実施できているが、サロンによっては、受け入れ態勢がない、または関わりがないサロンであるとボランティア本人が消極的になっていることも原因となっている。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由									
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和7年度以降は、地域いきいきライフ推進事業で新旧の介護予防ボランティア養成プログラム受講者同士の交流会等を通じ、情報交換を行うこと、また同事業で実施する講師派遣に組み込むことを検討する。								
		改善ポイント											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1		介護予防ボランティア派遣の周知	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	介護予防ボランティアの派遣についての周知を行っていなかったため、広報・HP等で広く周知する							R7		
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

